

平成28年度 事業報告

事業番号	事業の内容
公1	教育や文化の振興に関する事業

[1] 事業の概要

平成28年度も、本会の目的である「新しい時代にふさわしい教育の目的・理念の高揚に努め、香川県教育の充実とその振興を図る事業を推進し、もって県民の教育・文化・福祉の向上に努め、平和で民主的な国家・社会の形成に寄与する」ことを目的にさまざまな施策を実施した。具体的な事業として、教育文化講演会・広報啓発活動(広報発行)を実施した。また、夢づくり・人づくり新聞(36校分)の発行等も行い、教育関係者はもとより公民館等に配布し、広く県民の教育に関する意識の高揚を図った。

1 教育文化講演会の開催

会員はもとより県民一般にも興味・関心もてる内容の講演会を企画し、講演会日時などについては、ホームページで公開し、聴講の機会をつくった。

月	日	会場	講師	演題
6	2 (木)	香川県教育会館 (ミュージズホール)	学校法人本郷学園 理事長 松平頼武氏	社会の変化と高まる教育への期待 —私の「教育」について考えること—

2 広報・啓発活動

多くの課題が山積する教育界において、学校や教員を支える提言、先進的な実践の紹介、また、全国的な動向や本会の事業等を、会員のみならず広く県下に広報することで、県民の教育に対する意識の高揚に努めた。

(1) 会報の発行・配布

「会報」を発行して、会員の教育に対する意識を高めるとともに、教育に対する県民の意識向上を目指して、広く県民にも配布した。記事としては、地元に着目して活動している郡市等教育会からの「提言」、先進的な実践をしている学校、幼稚園・こども園の「学園だより」などを常掲してきた。

号	発行日	主な記事
111号	7月10日	総会報告・講演要旨・本年度の主な事業と組織(役員・郡市等教育会事務局)
112号	12月10日	日連教全国大会関係(大会報告・香川県提案発表要旨等)
113号	3月15日	当年度の主な事業報告

(2) ホームページでの広報活動

総会・理事会での決定事項や本会の事業概要を、会報よりひと足早く周知するとともに、公益事業として実施する内容やその要項等を会員や県民等に公開した。更新は、新着情報があり次第、順次更新を行ってきた。

3 夢づくり・人づくり事業

本会では、夢に向かって主体的に自己実現しようとするたくましい児童生徒を育成することを「夢づくり・人づくり事業」と命名し、児童生徒に直接的に働きかける事業や教員の活動を通して間接的に児童生徒に働きかける事業を企画した。

(1) 『夢づくり・人づくり新聞』(第3年次)

28年度は「我が町・我が校区のよさや特徴」を子どもたちの手でまとめた“夢づくり・人づくり新聞”(小27校、中9校)をつくり、前期・後期に分けて発刊した。

この新聞は、子どもたちの手で地域を取材し、特集記事としてまとめて紙上発表するもので、県下の国公立幼稚園・こども園(127園)、公立小学校(163校)、中学校(72校)、高等学校等(40校)、及び地域の公民館等に配布した。

事業番号	事業の内容
公2	教育や文化の振興に寄与する活動等への支援・助成事業

[1] 事業の概要

本会の目的とする「県民の教育・文化・福祉の向上に努め、平和で民主的な国家・社会の形成に寄与する」を達成するためには、香川県教育の充実とその振興は欠くべからざる要件である。そこで、未来の社会人となる児童生徒を育てる教員の資質向上への支援と、児童生徒の学術・芸術活動への支援事業を実施した。

1 教育研究団体助成事業

教員の研究活動全体を活性化するために、次の教育研究団体を支援するために助成金を交付する。香川県幼児教育研究会や、香川県小学校教育研究会内(国語、書写、社会科、算数、理科、生活・総合的な学習、音楽、図画工作、家庭、体育、道徳、特別活動、特別支援教育、へき地教育、学校図書館、メディア教育、学校保健、学校事務、人権同和教育、養護、生徒指導、学校給食、外国語活動部会)の23部会、香川県中学校教育研究会内(国語、社会科、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭、英語、養護、道徳教育、特別活動、生徒指導、特別支援教育、へき地教育、学校図書館、メディア教育、学校保健、学校事務、人権同和教育、進路指導、学校給食部会)の22部会

2 文化活動の支援事業

児童生徒の学術・芸術活動を推進する目的で結成された「香川県小・中学校文化連盟」は、毎年「香川県小・中学校総合文化祭」を実施してきた。児童生徒や保護者が鑑賞しやすい土・日曜日に県内の教員が主体的に開催する各発表会は、出品する児童生徒への励みになるとともに、県民の学校教育への関心・理解を深める場となっている。そこで、この総合文化祭を支援するために、本会から補助した。

3 教員の資質向上事業

児童生徒に対する教育の成否は、児童生徒の教育に直接携わる教職員の熱意と資質向上にかかっていると云っても過言ではない。そこで本会として、教員の資質向上のために、次の事業を推進した。

(1) 日本連合教育会全国大会への教員派遣

本会が所属している日本連合教育会の全国大会が平成28年度は栃木県で開催された。本会では、香川県内の教育力の向上に資するために、各郡市等教育会から選抜された優秀な教員を派遣し、教育実践を提案するとともに、全国レベルの優れた教育実践を持ち帰り、研究・研修活動に生かすようにした。今年度の全国大会は遠方なので、参加する会員・教員を精選して少人数を派遣した。

(2) 教育実践支援事業

自主的に教育研究に取り組む教員が増えることを期待して、自ら教育技術を研さんしたり、教育研究グループを自主的に組織して、積極的に研究実践をしている教員(10名)に助成金を交付した。また、その優れた研究成果を広報誌(3月発行予定)で広く公開した。

事業番号	事業の内容
公3	教育や文化の振興に功績のある個人・団体の顕彰事業

[1] 事業の概要

児童生徒を取り巻く教育環境は著しく変化し、多くの課題が生じている。こうした課題に対処するには、学校だけの努力では困難であり、地域の有志や篤志家などからの支援が必要である。こうした支援活動は、本会の目的とも合致するもので、本会として、こうした活動が広がることを期待して顕彰する。

1 学校貢献・地域貢献顕彰事業

学校貢献とは、学校教育に直接的・間接的にかかわって、教育活動を側面的に支援している活動であり、地域貢献とは、地域において子育て支援や文化的活動を進めている活動である。本会の目的に合致する活動をしている県内の個人・団体(10)を郡市等教育会の推薦を経て表彰した。

事業番号	事業の内容
収1	教育活動の円滑な推進に関する調査・出版事業

[1] 事業の概要

小・中学校においては、児童生徒の学習の定着を図るために副教材を使用しているが、市場に出回っている物の使用には、様々な弊害がある。その克服のために、香川県では教員が授業の進度や学習実態に応じた適切な副教材づくりを担ってきた。このことにより、県下の教育水準の平準化が維持され、学校が使用する副教材の数も減り、保護者負担の軽減にもなっている。そこで、本会は副教材の一層の適正化を図るために、副教材の作成過程における監修を担うこととした。なお、監修によって得た収益は、教員研修活動の活性化に役立てることとし、公益事業2「教育研究団体助成事業」に振り当ててきた。

1 監修委員研修会

適切な監修等を実施するために、研究調査や研修をする。

事業番号	事業の内容
他1	会員等の顕彰事業

[1] 事業の概要

1 20年以上会員として本会の活動に寄与し退職する会員に、感謝状と記念品を授与した。

2 本会の運営に貢献した役員に感謝状と記念品を授与した。

対象となる役員は、2年以上にわたる理事・監事・事務局長を務めた者である。